



ふるさと絆会  
代表質問 石田 哲 議員

高島市に営業本部を

営業本部を設置してはどうか

答 当面は現体制で対応します。

問 6月議会と同じ項目の再提案である。高島市に営業本部を設置してはどうか。

答 市長

提案内容は共感できますが、現行の政策立案を通じて人材育成に取り組んでおり、当面は現体制で対応させていただきます。

問

地方創生の成否は人材の登用でありプロの職員を養成する事が初歩である。短期の人事異動はすべきではない。

答 市長

職員の専門性や高度な知識の習得は職員の使命です。規模の小さい高島市では困難であると考えています。

問

農家をどのように支えるのか。農政に対する高島独自の施策が必要と考えるが。

答 市長

市総合戦略に基づき特産品の販売戦略や消費拡大に努めています。米の生産者への支援やJAとの連携は課題であると認識しています。

問

サッカー場凍結問題について、市長の過去の答弁は地域の要望とは合致していない。どう進めるか。

答 市長

整備やランニングコストに多大な経費を要するため凍結しました。地元に対し、一定の提案を持ち寄り、できるだけ速やかに活用を見出したいと考えています。

問

環境センターの将来展望について、10年を目途に新しい場所への移転や新設備に関する指摘がある。何を検討し、どう進める予定か。

答 市長

在り方検討委員会から、後継施設の準備の必要性をはじめ、適正規模が確保できる広域化等の検討が示されました。現在、広域化は大変厳しい状況であり、単独設置や民間委託等あらゆる角度から検討しています。

問

ゴミ問題の実態、今後の進め方は。

答 市長

紙ごみ減量に3年間取り組みました。平成25年度は60%が紙ごみでしたが、再調査の結果、実質的な紙ごみは10%程度であると確認できました。ただ、3年間の成果の分析・調査には至っていませんが、今後も引き続き紙資源回収の協力をお願いします。



その他の質問

●高島市の経済活動と将来展望について